

第113期 株主通信

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで





わたしたちは
確かなものづくりを通して
豊かな社会の実現に貢献します

目次	株主の皆様へ……………	1
	トピックス……………	2
	連結決算のご報告……………	5
	経営成績、事業別の営業の成果 業績の推移 連結貸借対照表要旨、連結損益計算書要旨 連結キャッシュ・フロー計算書要旨、連結株主資本等変動計算書要旨	
	単体決算のご報告……………	8
	営業の成果、部門別営業の成果 業績の推移 貸借対照表要旨、損益計算書要旨	
	完成工事ハイライト……………	10
	会社の概況……………	11
	商号、沿革、設立、営業種目 資本金、株式の状況 大株主の状況、株価の推移 取締役および監査役 執行役員 事業所 リゾート事業のご紹介 (パサージュ琴海アイランドゴルフクラブ) (ホテル パサージュ琴海)	

株主の皆様へ



代表取締役社長
岩田 裕美

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、第113期（平成25年4月1日から平成26年3月31日）の株主通信をお届けするにあたり、連絡および個別決算を含め、会社の近況をご報告申し上げます。

当社では、このたび代表取締役社長 水島 和紀が代表取締役会長に就任し、後任として私が社長に就任いたしました。社業発展のため専心努力いたす所存でございますので、今後ともいっそうのご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

当期におけるわが国経済は、政府・日銀による経済対策を背景に、個人消費や企業収益の改善が見られ、景気は緩やかな回復基調をたどりました。

建設業界におきましては、公共投資は堅調に推移し、民間設備投資も一部では持ち直す動きが見られたものの、労務費や原材料価格の上昇などの影響もあり、依然として厳しい経営環境が続きました。

このような環境の中、当社および当社連結子会社（以下「当社グループ」という）は、各社が有する技術の優位性を活かした受注活動やアスファルト合材等の製品販売を強化するとともに、コスト削減や業務の効率化に努めてまいりました。

今後のわが国経済は、輸出が持ち直しに向かい、各種経済政策の効果が下支えする中で、景気の回復基調が続くことが期待されますが、世界経済をめぐる不確実性は依然として高く、景気を下押しするリスクとして懸念されています。

建設業界におきましては、関連予算の執行による公共投資の底堅い推移と、企業収益の改善による民間設備投資の持ち直しが期待されるものの、企業間の熾烈な受注競争や建設物価の上昇など、業界を取り巻く経営環境は、依然として厳しい状況が予想されます。

このような環境の中、当社グループは、持てる技術力や機動力を発揮し、引き続き震災復興に全力で取り組むとともに、技術と経営に優れた企業集団として技術力の向上、営業力の強化、原材料価格上昇への適切な対応に努めるほか、生産性の向上とコスト削減を確実に進め、競争力の強化に取り組んでまいります。そして、舗装工事、土木工事、製品販売の収益基盤の一層の確立を進めるとともに、建築工事、開発事業、海外事業の事業収益の安定化に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年6月

株式会社 NIPPO

代表取締役社長 岩田 裕美

NIPPOの交通安全対策舗装

舗装をカラー化し、歩道や自転車道、車道の走行レーンを識別する舗装

塗布式カラー舗装 パーフェクトカラー、パーフェクトクール など

アスファルト舗装の表面に特殊な塗料を塗り重ねて仕上げるカラー舗装です。歩道や自転車道をカラー化することでドライバーの視認性が良くなります。



自転車道のパーフェクトクールM (青)

着色半たわみ性舗装 カラーポリシール

アスファルト舗装の「たわみ」とコンクリート舗装の「硬さ」を兼ね備えた半たわみ性舗装をカラー化したものです。カラー化した骨材や材料の使用で、周辺環境との調和が可能です。また、飾り目を設けて、景観性を高めることも可能です。



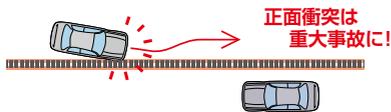
自然石風カラーポリシール

凹凸にした舗装の音や振動や上下の揺れで、ドライバーに注意を喚起する舗装

切削型注意喚起舗装 ランブルストリップス

NETIS: HK-030032-V
(NETIS推奨技術)

車線逸脱による事故を防止するために開発した新しい交通安全対策技術です。舗装路面の表面に一定の間隔で凹型の切削溝を付けることにより、走行車両が車線を逸脱した時には、音と振動でドライバーに注意を喚起します。

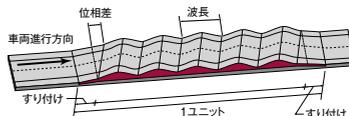


センターライン型のランブルストリップス
(独)土木研究所 寒地土木研究所と共同開発

速度抑制舗装 スピードセーブ工法

NETIS: KT-980117-A
(第2回建設技術開発賞)

生活道路の安全確保や暴走行為の排除のため、路面に滑らかな波形を連続して設けた舗装です。この路面形状により、制限速度を超過した車両に共振による揺れを生じさせ、運転者に不快感を与えて速度抑制を促します。



カラー舗装によるスピードセーブ工法

レミファルト

作業が容易で、誰もが手軽に扱える常温アスファルト混合物

「レミファルト」は、1965年（昭和40年）にNIPPOが我が国で最初に開発した、長期保存が可能な常温アスファルト混合物（ご家庭でも取り扱える袋詰めされたアスファルト舗装材料）です。

精選した材料を使用し、品質管理の行き届いたNIPPOの工場で製造しており、常温合材の利便性を最大限に活用して、誰でも簡単に路面のメンテナンスが行えます。

用途

- 民家の庭先、玄関廻り、公園の舗装
- ゴルフ場、遊園地、果樹園の通路の舗装
- 鉄道、学校、病院、工場の施設廻りの舗装
- ガス管、水道管、電信電話線の路面復旧
- ポットホール（小穴）、くぼみ、わだちの補修
- 段差の修正、修繕工事（オーバーレイ）

豊富なラインナップ 用途や適用箇所に応じてお選びいただけます。

商品名	汎用型 レミファルト	高安定性型 レミファルトS (スーパー)	高作業性型 レミファルトS5 (スーパーファイブ)	高耐久性・全天候型 レミファルトST (スーパータフ)	
荷姿					
内容量※1	30kg（バラ出荷も可）		30kg	20kg	
最大粒径	13mm		5mm		
適用箇所	軽交通道路 庭先・歩道		中交通道路 庭先・歩道		重交通道路 庭先・歩道
作業性	○	○	○	○	
全天候性※2	×	○	○	○	
安定性	△	○	○	○	
耐水性	△	○	○	○	
保存性	△	△	○	○	

※1 内容量は、製造工場により異なる場合があります。

※2 全天候性は、施工できる路面の状態にて区分しており、×は「乾燥状態のみ」、○は「湿潤状態も可」、◎は「水溜まりでも可」を示します。

パターンドペーブ

アスファルト舗装と景観性に富んだブロック舗装の長所を融合

敷きならし時のアスファルト合材、もしくは再加熱した既設アスファルト舗装の表面に、特殊なワイヤーメッシュ（テンプレート）を圧入し、ブロック柄や舗石柄などの立体模様を施したアスファルト舗装です。



施工前



施工後



路面拡大写真

特長

- **走行性・歩行性が良好** ブロック舗装等で散見される段差やガタツキが生じない
- **水切れが良い** テンプレートの溝が模擬目地となり、降雨時の水切れが良い
- **早期供用** ブロック舗装等と比較して短時間で施工できる

ウレタンパーソフトセーフティ

公園などの遊具での転落によるケガを低減！

クッション性に優れるゴムチップ層の上に高耐久カラーゴムチップ層を設けた2層タイプの弾性舗装です。衝撃吸収性に優れており、遊具からの不意の転落時に衝撃を軽減して重大事故から子供達を守ります。

構造



施工後

適用場所

公園や幼稚園、小学校などの遊具周りをはじめ、転んだ際のケガを抑制したい福祉施設や利用者の安全に配慮が求められる多目的広場などに最適です。

連結決算のご報告 (平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで)

経営成績

当連結会計年度の売上高は 4,316 億 38 百万円と前期に比べて 12.1%の増加となりました。

利益につきましては、営業利益は 346 億 89 百万円と前期に比べて 55.6%の増加、經常利益は 360 億 48 百万円と前期に比べて 50.9%の増加、また、当期純利益は 217 億 86 百万円と前期に比べて 49.9%の増加となりました。

事業別の営業の成果

建設事業

当社グループの主要部門であり、受注高は 3,062 億 39 百万円と前期に比べて 2.5%の増加、完成工事高は 3,194 億 25 百万円と前期に比べて 9.1%の増加、営業利益は 215 億 44 百万円と前期に比べて 49.1%の増加となりました。

製造・販売事業

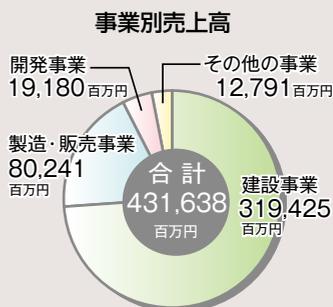
売上高は 802 億 41 百万円と前期に比べて 11.7%の増加、営業利益は 153 億 75 百万円と前期に比べて 29.5%の増加となりました。

開発事業

売上高は 191 億 80 百万円と前期に比べて 99.2%の増加、営業利益は 29 億 56 百万円と前期に比べて 224.9%の増加となりました。

その他の事業

売上高は 127 億 91 百万円と前期に比べ 18.4%の増加、営業利益は 15 億 70 百万円と前期に比べて 22.0%の増加となりました。



業績の推移

	第 110 期 (平成 22 年度)	第 111 期 (平成 23 年度)	第 112 期 (平成 24 年度)	当 期 (平成 25 年度)
受 注 高 (百万円)	359,339	403,196	389,234	419,016
売 上 高 (百万円)	374,840	376,523	385,017	431,638
経 常 利 益 (百万円)	15,494	16,998	23,881	36,048
当期純利益 (百万円)	7,669	7,474	14,537	21,786
1 株当たり当期純利益(円)	64.37	62.74	122.03	182.89
総 資 産 (百万円)	364,336	393,132	400,352	440,464
純 資 産 (百万円)	176,981	184,097	201,230	223,010
1 株当たり純資産 (円)	1,458.80	1,517.84	1,660.09	1,838.14

連結決算のご報告

連結貸借対照表要旨

平成 26 年 3 月 31 日現在

資産の部	単位：百万円
流動資産	304,523
現金預金	47,865
受取手形・完成工事未収入金等	149,816
未成工事支出金	18,203
たな卸不動産	27,843
短期貸付金	35,139
繰延税金資産	3,522
その他	22,131
固定資産	135,941
有形固定資産	90,058
建物・構築物	22,219
機械装置・運搬具	9,034
土地	57,255
その他	1,549
無形固定資産	2,008
投資その他の資産	43,874
投資有価証券	41,253
長期貸付金	263
繰延税金資産	385
その他	1,971
資産合計	440,464

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 123,866 百万円

負債の部	単位：百万円
流動負債	187,974
支払手形・工事未払金等	142,133
短期借入金	1,965
未成工事受入金	11,083
その他	32,792
固定負債	29,479
長期借入金	4,668
繰延税金負債	8,785
退職給付に係る負債	6,757
その他	9,268
負債合計	217,454
純資産の部	
株主資本	203,950
資本金	15,324
資本剰余金	15,916
利益剰余金	172,899
自己株式	△ 190
評価・換算差額等	15,005
その他有価証券評価差額金	16,263
繰延ヘッジ損益	△ 0
退職給付に係る調整累計額	△ 1,258
少数株主持分	4,055
純資産合計	223,010
負債・純資産合計	440,464

連結損益計算書要旨

平成 25 年 4 月 1 日から
平成 26 年 3 月 31 日まで

	単位：百万円
売上高	431,638
売上原価	376,748
売上総利益	54,889
販売費及び一般管理費	20,199
営業利益	34,689
営業外収益	1,946
営業外費用	588
経常利益	36,048

	単位：百万円
特別利益	89
特別損失	313
税金等調整前当期純利益	35,823
法人税、住民税及び事業税	13,204
法人税等調整額	507
少数株主利益	325
当期純利益	21,786

連結キャッシュ・フロー計算書要旨

平成 25 年 4 月 1 日から
平成 26 年 3 月 31 日まで

単位：百万円	
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,311
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,146
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,053
現金及び現金同等物に係る換算差額	183
現金及び現金同等物の増減額	27,295
現金及び現金同等物の期首残高	54,997
連結範囲変更等に伴う増減額	179
現金及び現金同等物の期末残高	82,472

連結株主資本等変動計算書要旨

平成 25 年 4 月 1 日から
平成 26 年 3 月 31 日まで

	株主資本					その他の包括利益累計額				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	退職給付に 係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	15,324	15,916	152,776	△ 173	183,843	13,919	-	-	13,919	3,466	201,230
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△1,786		△1,786						△1,786
当期純利益			21,786		21,786						21,786
自己株式の取得				△ 16	△ 16						△ 16
自己株式の処分					-						-
連結範囲の変動			124		124						124
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額（純額）						2,344	△ 0	△ 1,258	1,085	588	1,673
連結会計年度中の変動額合計	-	-	20,123	△ 16	20,106	2,344	△ 0	△ 1,258	1,085	588	21,780
当期末残高	15,324	15,916	172,899	△ 190	203,950	16,263	△ 0	△ 1,258	15,005	4,055	223,010

単体決算のご報告 (平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで)

営業の成果

当期の受注高は、2,922 億 46 百万円と前期に比べて 1.5%の増加、売上高は、3,143 億 79 百万円と前期に比べて 10.2%の増加となりました。

利益につきましては、経常利益は 313 億 41 百万円と前期に比べて 46.9%の増加となりました。

また、当期純利益は 192 億 41 百万円となりました。

なお、株主配当金につきましては、1 株当たり 15 円の普通配当に、特別配当 10 円を加えた 25 円とさせていただきます。

部門別営業の成果

工事部門

当期の受注高は、1,813 億 18 百万円と前期に比べて 8.9%の減少、完成工事高は 2,053 億 25 百万円と前期に比べて 4.5%の増加となりました。

製品部門

当期のアスファルト合材およびその他の製品販売の売上高は、831 億 55 百万円となり、前期に比べて 12.4%の増加となりました。

開発事業等の部門

当期の開発事業等の受注高は、277 億 72 百万円と前期に比べて 89.2%の増加、売上高 258 億 98 百万円と前期に比べて 74.2%増加いたしました。

業績の推移

	第 110 期 (平成 22 年度)	第 111 期 (平成 23 年度)	第 112 期 (平成 24 年度)	当 期 (平成 25 年度)
受 注 高 (百万円)	280,033	302,645	287,786	292,246
売 上 高 (百万円)	283,512	278,153	285,258	314,379
経 常 利 益 (百万円)	14,461	15,684	21,333	31,341
当期純利益 (百万円)	7,123	6,962	12,985	19,241
1 株当たり当期純利益(円)	59.79	58.44	109.00	161.53
総 資 産 (百万円)	286,916	311,174	324,484	351,851
純 資 産 (百万円)	159,167	165,672	180,631	200,388
1 株当たり純資産 (円)	1,336.02	1,390.66	1,516.28	1,682.27

貸借対照表要旨

平成26年3月31日現在

資産の部	単位：百万円
流動資産	217,437
現金・預金	25,901
受取手形	17,896
完成工事未収入金・売掛金	91,581
販売用不動産・開発事業等支出金	27,706
未成工事支出金	3,865
短期貸付金	32,605
繰延税金資産	2,977
その他	14,903
固定資産	134,413
有形固定資産	88,197
建物・構築物	21,720
機械装置・運搬具	7,514
土地	56,621
その他	2,341
無形固定資産	1,844
投資その他の資産	44,371
投資有価証券	29,047
長期貸付金	788
その他	14,535
資産合計	351,851

(注)有形固定資産の減価償却累計額 117,985百万円

負債の部	単位：百万円
流動負債	134,684
支払手形	16,380
工事未払金・買掛金	85,776
未払金	11,019
未成工事受入金	4,734
その他	16,774
固定負債	16,777
繰延税金負債	8,419
退職給付引当金	6
預り保証金敷金	6,437
その他	1,914
負債合計	151,462
純資産の部	
株主資本	184,541
資本金	15,324
資本剰余金	15,916
利益剰余金	153,490
自己株式	△190
評価・換算差額等	15,847
その他有価証券評価差額金	15,847
純資産合計	200,388
負債・純資産合計	351,851

損益計算書要旨

平成25年4月1日から
平成26年3月31日まで

	単位：百万円
売上高	314,379
売上原価	270,224
売上総利益	44,154
販売費及び一般管理費	14,088
営業利益	30,066
営業外収益	1,513
営業外費用	238
経常利益	31,341

	単位：百万円
特別利益	164
特別損失	195
税引前当期純利益	31,311
法人税、住民税及び事業税	11,497
法人税等調整額	571
当期純利益	19,241

完成工事ハイライト

- 首都高速道路株式会社
(修) 舗装改良工事24-2-3
【東京都】



- 東日本高速道路株式会社
北海道支社
道央自動車道
旭川管内舗装補修工事
【北海道】

- 三井不動産レジデンシャル株式会社
(仮称) パークホームズ
ボールパークタウン計画 新築工事
【広島県】



会社の概況

商号 株式会社 NIPPO

沿革 日本石油株式会社との道路部と浅野物産株式会社の道路部が合併して設立されました。

設立 昭和9年2月2日

営業種目 道路建設工事／空港施設工事／工場・流通施設工事／スポーツ・レジャー施設工事／各種舗装工事／一般土木工事／土地造成工事／上・下水道工事／造園・緑化工事／河川・港湾・海岸工事／防水・水利工事／一般建築工事／建築外構工事／建設資材の製造販売／石油・石炭・ガス・化学プラントの企画・設計・建設・監理／熱・電気供給設備の企画、設計開発、建設、販売／土壤汚染調査、分析および浄化工事／産業廃棄物処理／建設コンサルタント業務／不動産取引業務／ゴルフ場およびホテルの経営／特定目的会社、特別目的会社および不動産投資信託に対する出資並びに出資持分の売買、仲介および管理／公共施設等の企画、建設、保有、維持管理および運営／有料道路の保有、経営、管理、維持の業務／貨物利用運送業／発電および売電に関する業務／医療、健康、運動器具の販売および賃貸

資本金 15,324,503,088 円

株式の状況 (平成26年3月31日現在)

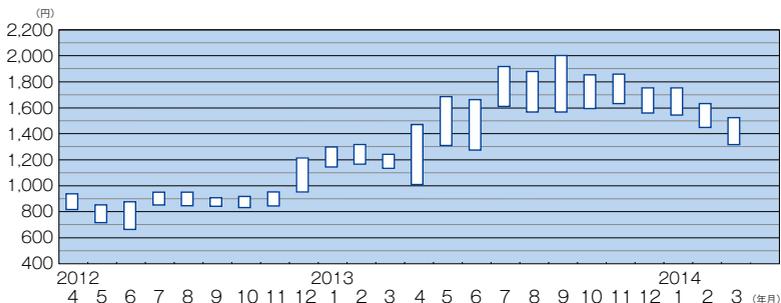
①発行可能株式総数	240,000,000 株
②発行済株式の総数	119,401,836 株
③株主数	6,504 名

大株主の状況 (平成26年3月31日現在)

株主名			持株数	持株比率	株主名			持株数	持株比率
			千株	%				千株	%
1	JXホールディングス株式会社		67,890	57.0	6	ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	1,143	1.0	
2	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)		5,196	4.4	7	CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,059	0.9	
3	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)		4,241	3.6	8	エバーグリーン	913	0.8	
4	野村信託銀行株式会社(投信口)		1,334	1.1	9	メロンバンクエヌアズエージェンティフォーイックライアントメロンオムコバエヌイノベーション	741	0.6	
5	ザバンク オブ ニューヨークメロン エスエーエヌバイ 10		1,178	1.0	10	ザチエスマンハッタンバンクエヌイロンドン エスエルオムコバ アカウント	707	0.6	

(注) 持株比率は自己株式(283,688株)を控除して計算しております。

株価の推移



会社の概況

取締役および監査役 (平成 26 年 6 月 24 日現在)

代表取締役 会長	水 島 和 紀	常勤監査役	関 俊 朗
代表取締役 社長	岩 田 裕 美	常勤監査役	傍 田 明 夫
代表取締役	山 縣 由起夫	常勤監査役	吉 田 泰 麿
代表取締役	上 坂 光 男	監 査 役	石 田 祐 幸
取 締 役	横 山 茂		
取 締 役	石 川 公 一		
取 締 役	寺 分 純 一		
取 締 役	高 橋 章 次		
取 締 役	木 村 康		

(注) 吉田 泰麿、石田 祐幸は社外監査役です。

執行役員 (平成 26 年 6 月 24 日現在)

※執行役員社長	岩 田 裕 美	執行役員	渡 辺 雅 夫
※執行役員副社長	山 縣 由起夫	執行役員	寺 嶋 則 夫
※専務執行役員	上 坂 光 男	執行役員	廣 本 哲 也
専務執行役員	加 納 研之助	執行役員	小 迫 一 博
※専務執行役員	横 山 茂	執行役員	佐 藤 浩 孝
※専務執行役員	石 川 公 一	執行役員	馬 場 義 雄
※専務執行役員	寺 分 純 一	執行役員	吉 川 芳 和
※専務執行役員	高 橋 章 次	執行役員	赤 池 利 孝
常務執行役員	石 井 猛	執行役員	藤 井 進
常務執行役員	村 石 政 志	執行役員	矢 吹 直 人
常務執行役員	石 川 好 信	執行役員	井 誠 輔
常務執行役員	森 川 司	執行役員	松 澤 洋
常務執行役員	古 市 光	執行役員	荒 井 明 夫
		執行役員	宮 崎 匡 弘
		執行役員	橋 本 祐 司

(注) ※印は取締役との兼務を示します。

事業所

本社：東京都中央区京橋一丁目19番11号

総合技術センター・技術研究所（さいたま市西区）

支店：北海道支店（札幌市中央区） 東北支店（仙台市青葉区）
関東第一支店（東京都新宿区） 関東第二支店（東京都品川区）
北信越支店（新潟市中央区） 中部支店（名古屋市中区）
関西支店（大阪市中央区） 四国支店（高松市）
中国支店（広島市南区） 九州支店（福岡市中央区）
関東建築支店（東京都品川区）

リゾート事業のご紹介



パサージュ琴海アイランドゴルフクラブ
ホテルパサージュ琴海

〒851-3211

長崎県長崎市琴海戸根原町171
TEL 095-884-3990 (代表) FAX 095-884-3970



長崎リゾートアイランド

パサージュ琴海

○インターネットで当社に関する情報をご覧になれます。
ホームページアドレス <http://www.nippo-c.co.jp>

株主メモ

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

配当金受領株主確定日

毎年3月31日

定時株主総会

毎年6月下旬

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先

〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

☎0120-782-031 (フリーダイヤル)

(住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について)

○株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

(未払配当金の支払いについて)

○株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

(配当金のお受け取りについて)

○従来の銀行預金口座への振込に加え、ゆうちょ銀行口座への振込をお取り扱いしております。ご利用いただく場合は、お取引の証券会社等にお申出ください。

(「配当金計算書」について)

○配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

○ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

○なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

